

8月・9月の催し物

紙の博物館 ☎ 893-0886

- 第25回 紙とあそぼう作品展
7月18日(日)～8月22日(日)
高知県内の園児・児童・生徒から寄せられた全作品を展示します。紙の特性を活かして制作された、魅力あふれる作品の数々をご覧ください。



大賞「川内小カイコらんど」川内小学校

- 「源太の手紙、龍馬の手紙」展
7月31日(土)～8月29日(日)
紙業界の恩人吉井源太と坂本龍馬は、同時代を生き、ともに世界に目を向け活躍しました。2人の残した手紙から、人物像に迫りその偉業を紹介します。
～記念講演～
「源太と龍馬、ふたりを知る人々」
一中浜万次郎、石田英吉らとの交流—
日 時 8月8日(日)13:30～
講 師 村上 弥生 氏
(吉井源太研究家・本展監修)
山本一力講演会
日 時 8月29日(日)14:00～
高知市出身の直木賞作家山本一力氏の講演会です。土佐七色紙の生みの親とされる養甫尼(長宗我部元親の妹)を主人公にした小説「花つぶて」を執筆中です。
※講演会は、紙の博物館入館料で聴講いただけます。

- 「紙逢わせ～しあわせ～」展
9月5日(日)～9月26日(日)
三人三様の紙づかいで、土佐和紙

の表情の豊かさをお楽しみください。
書家 北古味 可葉
和紙と墨で伝える神秘的な生命の息吹

光の切り絵作家 酒井 敦美
典具帖紙から生み出す光の切り絵
和紙スイーツ作家 倉 美紀
典具帖紙で表現するおしゃれなお菓子の世界

夏休みは紙の博物館へ行こう!

お楽しみ体験メニュー
夏の思い出を「紙」にしてお持ち帰り!

◆手すき体験



色紙(2枚)・はがき(8枚)に加え、名刺(21枚)を漉くことができるようになりました。また、自分で漉いた名刺に、土佐・龍馬であい博キャラクターや、仁淀川紙のこいのぼり、ようほにちゃんとの志士くん、などのイラストを入れて印刷することができます。
入 館 料 おとな 420円
こども 80円

手すき体験料 420円
名刺印刷料 160円
※団体の場合は、ご予約ください。

◆写筆体験

坂本龍馬のお話や、いの町の紙の発展に尽くした吉井源太の紙芝居の後、龍馬の手紙をなぞる写筆を体験します。龍馬の文字は少し難しいけど…チャレンジ! 1枚は、紙の博物館に展示させていただきます

ますのでご提供ください。1セット500円の写筆セットが2セットついて、しかも入館料込みで600円とお得なメニューになっています。お友達と遊びに来てください。

日 時 8月19日(木)

9:30～11:30

場 所 いの町紙の博物館

参加費

(入館料と写筆セット2種類込み)

小学生～高校生 600円

大人 1,000円

※保護者の方もご参加いただけますが、内容は小学中学年～中学生程度です。

紙の歴史や紙漉きの原料や道具など、館内の展示物の説明もできますので、職員にお気軽に声をかけてください。

ギャラリー・コパ

☎ 893-1200

- ◇第3回 全国土佐和紙はがき絵展巡回展

7月24日(土)～8月15日(日)
土佐和紙の素晴らしさを知ってもらおうと、紙の博物館で開催している「全国土佐和紙はがき絵展」の巡回展です。入賞作と、その他数十点の作品を展示します。

- ◇正寿窯グループ 趣味の陶芸展

9月9日(木)～9月14日(火)
いの町の土佐伊野焼正寿窯の展示会です。月に一度の陶芸教室に通う数十名が、その活動の中で生み出した食器や花器など約150点を展示し、グループの交流を深めるとともに、多くの方に陶器の世界にふれていただきたいと思ひます。

紙の博物館ボランティア募集

紙の博物館は、開館25年を迎え、今までに151万人の皆さんにご来館いただきました。新たな取組として、地域の皆さんに愛され、お客様に喜んでいただける紙の博物館を目指して活動し、活動を通じていの町に誇りをもってもらえるボランティアを募集しています。紙漉きや和紙研究の第一人者を講師に迎え、土佐和紙の歴史や特徴、紙の原料や製法等についての講座と関係各施設の見学の後、活動を開始する予定です。ボランティアに関心があり、ご協力いただける18歳以上の方は、紙の博物館までご連絡ください。

問い合わせ

紙の博物館

☎ 893-0886

FAX 893-0887

✉ tosawasi@bronze.ocn.ne.jp